

環境活動レポート

2018年度
(2018年1月～2018年12月)



1	組織の概要	1 ページ
2	対象範囲	1 ページ
3	環境方針	2 ページ
4	環境目標	3 ページ
5	環境目標の実績	4 ページ
6	環境活動計画の取組結果とその評価	5 ページ
7	次年度の取組内容	6 ページ
8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	7 ページ
9	代表者による全体評価と見直しの結果	7 ページ

2019年2月26日発行

株式会社 エイム

東京都町田市野津田町34-1

1 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名	
事業所名	株式会社 エイム
代表者	代表取締役 堀 進
設立	1985年10月
資本金	9000万円

(2) 所在地
〒195-0063 東京都町田市野津田町34-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先	
環境管理責任者	板谷 謙二
環境管理室	古家 功一
担当者	堀 良輔 E-mail r-hori@aim-genki.com
連絡先	電話 042-708-9407 FAX 042-708-9417

(4) 事業活動の内容
プリント基板の表面実装・ディップ・BGA/CSPのリワーク・リボール X線検査・その他あらゆる実装を手掛けています。

(5) 事業の規模	
主要製品：各種メモリ製品の生産	
活動規模	(基準) (実績) (計画) (計画) (計画) (計画)
年度(1月～12月)	2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度 2022年度
売上高(百万円)	800 800 820 830 840 850
従業員数 (人)	22 22 22 22 22 22
延床面積 (m ²)	614 614 614 614 614 614

2 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織
東京都町田市野津田町34-1 (本社工場)

(2) 認証・登録対象活動
電子部品のプリント基板実装組立

環境方針

1 株式会社エイムは安心して生活できる地球環境を目指し、資源の有効活用と環境汚染の予防に取り組み、継続的に環境への負荷を低減する活動を全従業員が積極的に実施し、“地球環境にやさしいモノづくりの拠点”の実現を目指します。

2 事業活動に伴う環境への負荷を低減するため目標を定めて環境保全活動を実施します。

特に次の事項は優先的に取組みます。

①省エネルギー化を推進します。

②廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出抑制に努めます。

③製品資材および、その他の一般購入品のグリーン調達に努めます。

④製造品質の改善に努めます。

⑤節水に努めます。

⑥化学物質の取り扱い管理を徹底します。

3 環境関連法規や当社が同意するその他の要求事項を順守します。

4 地域住民の皆様との環境コミュニケーションに積極的に取組みます。

2007年 8月 1日 制定

2014年 3月 1日 改訂



エコアクション21
認証・登録番号0002467

株式会社エイム

代表取締役

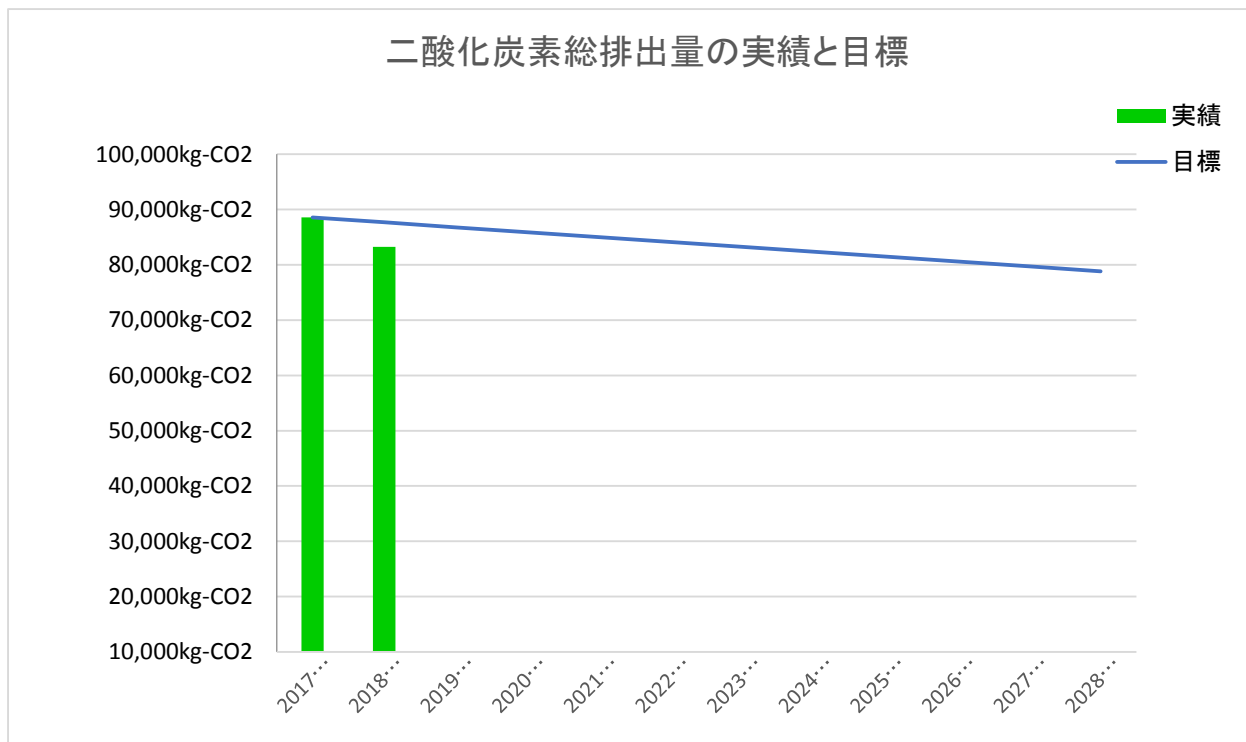
A handwritten signature in black ink, appearing to be '堀 雅' (Hori Masahiko).

4 環境目標

環境目標

項目		単位	2017年度 (基準)	2018年度 (目標)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)
①省エネルギー化推進	CO2総排出量	Kg-CO ₂	88,557	87,671	86,786	85,900	85,015
	削減率	%	基準	1	2	3	4
	電力使用量	kwh	179,103	177,312	175,521	173,730	171,939
	削減率	%	基準	1	2	3	4
	CO2排出量	Kg-CO ₂	76,118.8	75,357.6	74,596.4	73,835.2	73,074.0
	ガソリン使用量	ℓ	5,357	5,303	5,250	5,196	5,143
	削減率	%	基準	1	2	3	4
②廃棄物排出抑制	CO2排出量	Kg-CO ₂	12,437.3	12,313.0	12,188.6	12,064.2	11,939.9
	廃棄物排出量	t	6.75	6.683	6.615	6.548	6.480
③グリーン調達	削減率	%	基準	1	2	3	4
	グリーン購入品目	数	50	推進	推進	推進	推進
④品質改善	グリーン化率	%	70	72	73	74	75
	改善提案	件数	20	20	20	20	20
⑤節水	総排水量	m ³	103	480	480	480	480
	削減率	%	基準	93	93	93	93
⑥化学物質取扱管理	イソピルアルコール	kg	98	0	0	0	0
	ソルバント	kg	96	100	100	100	100

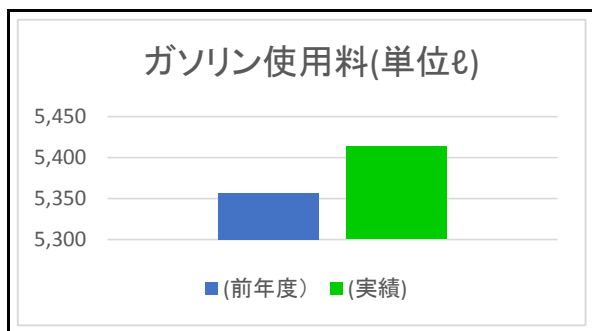
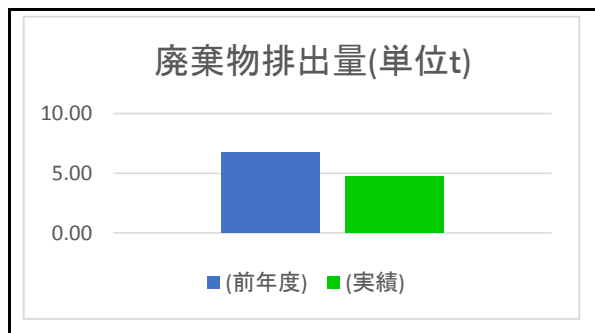
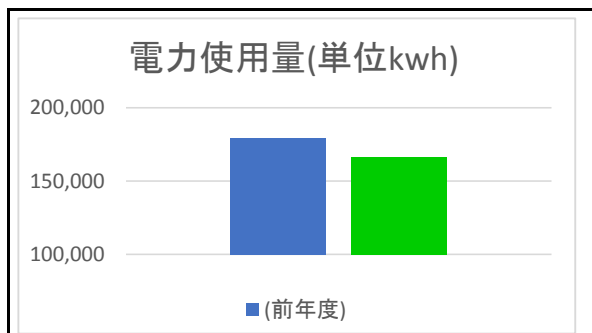
注) 購入電力の二酸化炭素排出係数0.425kg-CO₂/KWh



5 環境目標の実績

2018年度の実績

項目		単位	2017年度 (基準)	2017年度 (実績)	2018年度 (実績)	評価	備考
①省エネルギー化 推進	CO2総排出量	Kg-CO ₂	88,557	88,557	83,228	○	前年度より6.1%削減
	削減率	%	基準		6.1		
	電力使用量	kwh	179,103	179,103	166,259	○	前年度より7.2%削減
	削減率	%	基準		7.2		
	CO2排出量	Kg-CO ₂	76,118.8	76,118.8	70,660.1		
	ガソリン使用量	ℓ	5,357	5,357	5,413	×	前年度より1%増加
	削減率	%	基準		0.0		
CO2排出量	Kg-CO ₂	12,437.3	12,437.3	12,568.2			
②廃棄物 排出抑制	廃棄物排出量	t	6.75	6.75	4.73	○	梱包材と一般廃棄物が主です リサイクル(紙・金属・H7等)含む
	削減率	%	基準		30.0		
③グリーンの 調達	グリーン購入品目	数	71	71	71	○	目標の見直しを行った {工製品数/購入品数}×100
	グリーン化率	%	70	70	70		
④品質改善	改善提案	件数	20	20	20	○	目標の見直しを行った
⑤節水	総排水量	m ³	103	103	110	×	前年度より6.7%増加
	削減率	%	基準		0.0		
⑥化学物質 取扱管理	イソピルアルコール	kg	98	98	95	○	2018年度より溶剤変更
	ソルベント	kg	96	96	93	○	適正に管理されている



6 環境活動計画の取組結果とその評価

環境活動（2018年1月～12月）

環境活動計画		取組結果 90%以上◎ 90%未満▲	
①省エネルギー化推進	担当者	結果	実施事項の評価
生産準備の前段取り	鈴木	◎	スムーズに前段取りができロスが無かった
ITの温度・消し忘れ	全員	◎	全員に周知徹底できている
扇風機を利用し空調調節	全員	◎	4台を効果的に使用した
昼休みの消灯	全員	◎	全員に周知徹底できている
蛍光灯の間引き	堀	◎	徹底できている
クールビズ・ウォームビズ	全員	◎	全員に周知徹底できている
自販機を節電型へ	堀	◎	2台とも変更完了
コピー機の節約注意啓蒙	堀	◎	全員に周知徹底できている
会議資料の配布物削減	全員	◎	全員に周知徹底できている
印刷プレビューの実施	全員	◎	全員に周知徹底できている
エコドライブ	全員	◎	全員に周知徹底できている
②廃棄物排出抑制	担当者	結果	実施事項の評価
社内配布物は裏紙	全員	◎	全員に周知徹底できている
廃棄物の分別	全員	◎	全員に周知徹底できている
段ボール、紙のリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
金属、廃プラのリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
基板、端材のリサイクル	全員	◎	全員に周知徹底できている
通箱の有効利用	全員	◎	全員に周知徹底できている
梱包材の再利用	全員	◎	全員に周知徹底できている
マイ箸運動	全員	◎	全員に周知徹底できている
③グリーン調達	担当者	結果	実施事項の評価
エコマーク商品購入	堀	◎	エコ用品が増えたので選択しやすい
④排水量適正管理	担当者	結果	実施事項の評価
トイレの節水ゴマ	堀	◎	継続中
生活水の節水	全員	◎	全員に周知徹底できている
⑤品質改善	担当者	結果	実施事項の評価
カイゼン提案	全員	◎	全員に周知徹底できている
⑥化学物質取扱管理	担当者	結果	実施事項の評価
化学物質の使用量削減	古家	◎	全員に周知徹底できている

7 次年度の取組内容

前年度の取組結果を踏まえ、さらに全員への周知とマンネリ化打開の工夫が必要とされますので、掲示物の作り変えなども含め一新し、継続していきます。

次年度の取組み内容	担当者	工夫と注意点
①省エネルギー化推進		
生産準備の前段取り	鈴木	さらに短縮の目標設定
エアコン温度・消し忘れ	鈴木	タイマーを必ず設定する
扇風機を利用し空調調節	古家	継続する
昼休みの消灯	古家	継続する
蛍光灯の間引き	堀	今一度、社内巡回し間引きする
夏季 給湯器OFF	堀	トイレはOFFにする
自販機を節電型へ	堀	継続する
未使用時パソコンの電源OFF	堀	朝礼で毎日 全員に周知徹底する
会議資料の配布物削減	堀	継続する
印刷プレビューの実施	堀	朝礼で毎日 全員に周知徹底する
エコドライブ	志村	継続する
②廃棄物排出抑制		
社内配布物は裏紙	篠原	継続する
廃棄物の分別	堀	継続する
段ボール、紙のリサイクル	堀	継続する
金属、廃プラのリサイクル	高橋	継続する
基板、端材のリサイクル	嶋崎	継続する
通箱の有効利用	白武	取引先と話し合いが必要
電子データの保存の推進	板谷	紙の使用削減に努める
マイ箸運動	堀	置き箸の徹底
③グリーン調達		
エコマーク商品購入	堀	グリーン購入の徹底を図る
④排水量適正管理		
トイレの節水ゴマ	堀	継続する
生活水の節水	堀	継続する
⑤品質改善		
カイゼン提案	古家	積極的に推進、継続
⑥化学物質取扱管理		
化学物質の使用量削減	古家	取り扱い量の管理強化

8 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用される主な環境関連法規等は下記に示すとおりで遵守状況を確認しました。

主な環境関連法規等

適用環境関連法規等	適用される事項（施設、物質、事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃油等）
消防法（危険物）	危険物
RoHS指令（有害物質使用制限）	ソルダーペースト
自動車リサイクル法	営業車
下水道法	生活用排水
町田市火災予防条例	危険物
労働安全衛生法	有機溶剤

◎上記法規等改定状況並びに遵守状況を確認し問題ありませんでした。

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟等の有無はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘はありません。

9 代表者による全体評価と見直しの結果

(1) 全体評価

2017年度を基準にし始めての年度であったが概ね目標を達成できた。
一部、ガソリンの使用量が増えたが運送業の配送料金の値上がりにより近辺の顧客への受け渡しをなるべく自社で行っているからだと思う。
また、事務所移転から3年目になるので引き続き努力をしていきたいと思う。

(2) 見直しの結果

2018年度の計画は概ね達成できた。
節水に関しては達成できなかったが、社屋の清掃の回数を増やしたからだと思いません。

その他

環境関連法規等の遵守・外部からの環境に関する苦情や要望については、問題は起きていませんが、引き続き法規制・システムの改善に心がけ環境活動を続けていかなければならない。